

平成 28 年度津高東京同窓会総会・親睦パーティ報告

本年度の津高東京同窓会は、伊勢志摩サミットが終了した翌日の 5 月 28 日（土）、例年同様霞が関ビル 35 階にある東海大学校友会館で開催しました。



総会は事務局、親睦パーティは輪番幹事である昭和 44 年卒と昭和 56 年卒が中心となり、企画運営しました。

出席者は最終的に 191 名となり、2 年連続の 200 名超えを達成できなかったことは残念ですが、幅広い年代の同窓生にお集まりいただきました。



受付は、56 年卒が担当しました。卒年別に 4 グループに分けて受付テーブルを設け、出席者の皆様のご協力も得て、会費受け入れ、名札・資料の配布を円滑に行うことができました。また、56 年卒は事務局運営の寄付テーブルも担当しました。

《総会》



事務局の金丸敦子さんの司会で 11 時 30 分に総会が始まりました。

<東京同窓会 田村会長挨拶>

平成2年に東京同窓会の活動を再興され、その後長らく会長を務められた加藤精一岡三証券グループ会長が本年1月19日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

東京同窓会は、自立の方向を目指し、現在は、事務局に入って下さったメンバーのボランティアにより運営されています。

引続きご支援ご協力をお願いします。



親睦パーティは、今年も輪番幹事が趣向を凝らした企画を立てていますので、愉快にお過ごしください。

<事業報告・会計報告>

事務局村主英明さんより平成27年度事業報告・会計報告がなされました。

<来賓紹介・ご挨拶>

本部同窓会会長 飯田俊司 様



三重県は伊勢志摩サミット一色です。4月に桑名で行われたジュニアサミットには津高3年生が代表とアテンダントとして各1名選抜されました。サミットの夜会では、津高卒業生が蔵元である三重の地酒が提供されました。

外人観光客数も急増しています。

津高については、去年は創立135周年を記念して有造塾を開催、本部・東・名・阪の各同窓会も盛大に開催されました。今年も各同窓会の開催が予定されています。

東京同窓会の益々の発展と皆様のご健勝をお祈りしています。

津高等学校校長 中川弘文 様

本年4月に異動により鳥羽高校から着任しました。

津高は、「文武両道」「自主自立」を着実に継承しています。国内外で活躍する先輩も数多い伝統校であり、引き続き地域から信頼される公立高校を目指して運営していきます。

同窓会の皆様の母校に寄せる想いはたいへん大きいと感じています。今後も津高の運営に一層のご協力をお願いします。



《親睦パーティ》

12時ちょうどから、44年卒の倉岡義幸・美保子ご夫妻の司会で、親睦パーティが始まりました。

「世代を超えて、広がる交流の輪！ 思い出と未来の交差点」

をテーマにし、出来るだけ多くの時間を同窓生同士の歓談に費やすことができるように企画しました。



<恩師のご紹介>

先生方から事前におうかがいしたエピソード等を司会者からご紹介しました。

出口健正 先生

(在任：昭和48年～55年、昭和58年～平成6年、
担当教科：数学)

学生時代の経験を生かしてバドミントン部の顧問をしたが、昭和56年卒の生徒が創部以来初の国体選手になったことが一番の思い出。

後の津東高校長時代には中川現津高校長が教師として赴任されていた。



青山雅樹 先生

(在任：昭和55年～平成6年、
担当教科：世界史、日本史)

本年度輪番幹事44年卒の同期です。

14年間の在任中、ハンドボール部の顧問を務めたほか、一時期は女子ソフトボール部の顧問も務めた。

出口先生とは10年以上に亘り同時期に津高に奉職し、休日には夫婦同志でテニスを楽しんだこともあった。



<西本和子さん(昭和44年卒)による邦楽落語>

古典落語で有名な「松山鏡」の三味線弾き語りです。

時は江戸時代、鏡を誰も見たことのない松山村で繰り広げられる味わい深くも愉快なお話でした。



<谷篤さん(昭和54年卒)による歌唱>

プロのバリトン歌手として活躍されている谷さんにシューベルトの歌曲等を4曲歌っていただきました。

それぞれの曲の背景なども解説していただいたので、美しい歌声がより心に響きました。



<乾杯>

乾杯の音頭は、奥田務大阪同窓会会長にとっていただきました。



今年は大阪同窓会50周年です。ぜひ大阪にもお越しください。

東京同窓会の発展を祈念して、乾杯！

<歓談>

まずは例年同様卒業年次別のテーブルで食事しながら歓談。



<サプライズ企画>



席替え前に、サプライズ企画として「津高やめろ節」を44年卒が披露し、全員で合唱しました。

45年前に発売されたLPレコードも披露されました。

<席替え 生まれ月別のテーブルに移って歓談>

今年度は、東京同窓会初めての試みとして、生まれ月別にテーブルを分けました。輪番幹事が、テーブルマスターとしてテーブル毎のトークをリードし、名前、卒業年次に加えて、マイブーム（最近ハマっていること）などをテーブルの全員に話していただきました。若手からは「先輩に聞きたいこと」、先輩方からは「後輩にアドバイスしたいこと」などの話題も出て、楽しいコミュニケーションができ、世代を超えて同窓生の輪を広げられたのではないのでしょうか。



<新会員紹介>



平成28年卒

魚住あかりさん（一橋大学）

自己紹介と抱負を述べられました。

将来は新聞記者になりたかったが、本日様々な職業の諸先輩のお話を伺った結果、もっとじっくり時間をかけて将来を考えたい。

<来年度幹事・副幹事紹介>

来年度の輪番幹事は45年卒と57年卒です。本日出席の両年卒生全員が登壇、代表して45年卒の奈良谷弘さんが決意表明を述べられました。



<校歌（津中・三重櫻・津高）斉唱>



先ほど美しい歌唱をご披露いただいた谷篤さんの指揮・歌唱指導により、津中学校校歌、津高等女学校校歌、津高等学校校歌の順に、全員が高らかに歌いました。

<閉会>

あっという間に予定の3時間が経過し、お開きの時間を迎えました。

本年は、井村屋株式会社様から津高の写真と校歌を掲載した特別のパッケージの「招福ようかん」と東海醸造株式会社様からオリジナルラベルを添付した懐かしい味の「たまりピーナッツ」をご厚意でお土産として提供いただきました。

「楽しい同窓会だった」「来年も楽しみにしているよ」というお言葉を多くの方々からお寄せいただき、幹事一同苦勞が報われた思いがしました。

最後に、ご出席していただいた皆様、昨年7月以来10か月に亘り懇切且つ的確なご支援・ご指導をいただいた事務局の皆様に、心より感謝申し上げます。

(輪番幹事・副輪番幹事一同)